

自己架橋 弱溶剤形 アクリルシリコン樹脂塗料

1液ワイドシリコン

..... セラミック配合



遅く優く1液シリコン塗料です。

たくま

自己架橋 弱溶剤形 アクリルシリコン樹脂塗料

1液ワイドシリコン



高耐候性を誇るシリコン樹脂の1液化、さらに塗料化した1液ワイドシリコンは、高性能の使いやすい理想的な塗料と言えます。



高 耐候性 ← シリコンの特性

(JIS耐候形1種)

◆ 耐候性に優れた架橋形シリコン樹脂を基本にしていますので、太陽光線、酸性雨などによる光沢低下が少ないです。



環 境に配慮 ← 非鉛・非クロム 低臭

- ◆ 2液形塗料の硬化剤に含まれているイソシアネートを使用していません。
- ◆ 鉛、クロムを含む顔料を一切配合していません
- ◆ 塗シタイプですので、臭いが柔らかく、塗装作業にやさしいです。

使 いやすさ ← 1 液

◆ 1液ですから、2液のような混合の煩わしさ、使用時間の制限、残ネタのロスがありません

低 汚 染 ← セラミック配合

◆ セラミック配合と低帯電性の汚れにくい塗膜が低汚染性を発揮します。

優れた仕上り ← → 良好な作業性

- ◆ 良好な作業性が、肉持ちの良い高光沢の塗膜をつくれます。
- ◆ 冬期の塗装にも最適です。

多用途 ← → 弱溶剤

- ◆ ターペン可溶ですので、強溶剤系塗料のように下地を侵すことはありません。外壁、鉄部、木部、トタン屋根などあらゆる下地に塗装できますので、1液ワイドシリコンのみで、すべての塗装が可能です。

塗装適用範囲		
適用部位	適用素地	適用旧塗膜
外壁 内壁 手摺り・鉄扉 鉄鋼構造物 屋根 ダクト・パイプ 樋	コンクリート モルタル PCパネル ALCパネル サイディングボード 鉄骨・鋼板 トタン・カラートタン 硬質塩ビ	アクリル樹脂系 ウレタン樹脂系 塩化ビニル樹脂 合成樹脂調合ペイント(SOP) エマルジョンペイント(EP)・(AEP) フタル酸樹脂 リシン・吹付タイル スタッコ

●トタン屋根雪滑り性



試験項目	試験結果	試験条件
乾燥時間	23℃ 3時間	半硬化乾燥 wet膜厚 100μm
	5℃ 5時間	
光沢	85	60度鏡面光沢度
隠ぺい率	0.97	wet膜厚 150μm(白)
付着性	100/100	1mm幅 10×10基盤目
耐屈曲性	異常なし	φ10mm折り曲げ
耐アルカリ性	異常なし	23℃、5%苛性ソーダ液 スポット7日間
耐酸性	異常なし	23℃、5%硫酸水溶液 スポット7日間
耐水性	異常なし	23℃、上水 7日間浸漬
温冷繰返し	異常なし	JIS A 6909 10 サイクル
促進耐候性	光沢保持率(%) 81	サンシャインウェザーメーター、2,000時間

※第四類第二石油類(危険等級Ⅲ)、第三種有機溶剤等

●商品体系

商品名	色相	容量
1液ワイドシリコン	白、黒、赤、赤さび色、オーカー色、黄色、紺 (淡彩色、中彩色、濃彩色)	15kg 3kg(原色のみ)
1液ワイドシリコン	白 (淡彩色、中彩色、濃彩色)	15kg
	7分つや	
	3分つや	

※5分つや・3分つや、また赤・黄色系は、屋根塗装には使用できません。

原色



黒



赤



赤さび色



オーカー色



黄色



紺

※原色の色票は、印刷ですので、実際の色とは多少異なります。



外壁 (コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード)

………… (旧塗膜…リシン・吹付タイル・スタッコ・EP・AEP)

① 旧塗膜のテクスチャーを活かす場合

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	・チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ・水洗い面を十分に乾燥させる。					
2 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

② 旧塗膜のテクスチャーを変える場合

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	・旧塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ・水洗い面を十分に乾燥させる。 ・旧塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。					
2 下塗り	リメイクプラ 清水	100 1~3	0.8~1.2	1	8時間以上	パターンローラー塗り
3 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

一般鉄部及び金属部

………… (旧塗膜…SOP・フタル酸樹脂、塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂)

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	・ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨布・皮すきなどの手工具を併用して、さび・劣化塗膜などを除去する。 ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り (さび止め塗り)	エポマイルド	100	0.12~0.16	2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、エポプラ、さびストップ、リフノンの使用も可能です。塗り替え面にさびが発生していない場合には、下塗りを省略することができます。

木部

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	・旧塗膜の劣化部分をスクレーパー、研磨紙などを用いて除去する。 ・汚れ・付着物は、木部を傷つけないように除去し、油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

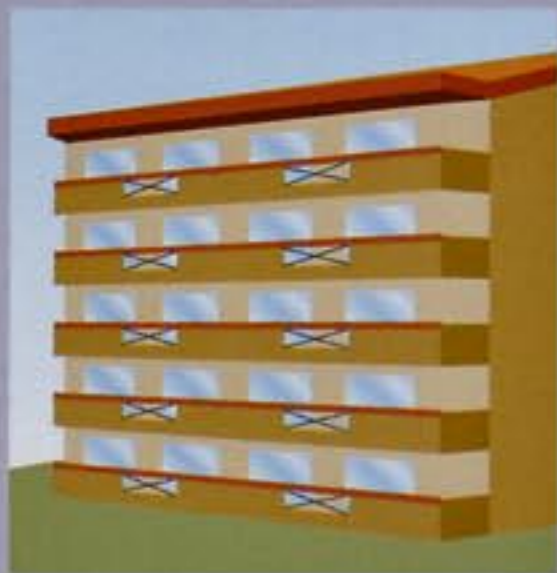
□旧塗膜が剥離している場合には、下塗りとしてエスコート下塗用を塗装してください。

樋 (硬質塩ビ)

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	・サンドペーパーなどを用いて目粗しをする。 ・汚れ・付着物・油脂類を溶剤ぶきなどにより除去する。					
2 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

外壁 (コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード)

① 平滑仕上げ



工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	・素地は、十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・素地のレイトンス・エフロッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	ピナクルシーラー	100	0.12~0.17	1	1時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、ピナクルホワイト・サミブラ・リフノンの使用も可能です。

② 凹凸模様仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 素地調整	・素地は、十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・素地のレイトンス・エフロッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	サミブラ 清水	100 0~5	0.13~0.15	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 主材塗り	ラフトンジャンボ 清水	100 0~2	1.4~1.6	1	16時間以上	吹付け
4 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、ピナクルシーラー・ピナクルホワイト・リフノンの使用も可能です。
 □主材塗りには、ラフトンエポキシジャンボRE・ラフトンシリカジャンボも可能です。

一般鉄部及び金属部 (鉄・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレス)



工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	・ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨布・皮すきなどの手工具を併用して、さび・黒皮・じんあい・汚れなどを除去する。 ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り (さび止め塗り)	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、エポブラ、さびストップ、リフノンの使用も可能です。
 □塩化ビニル被覆鉄板の場合は、下塗りにリフノンを2回塗りしてください。

木部



工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	・オービタルサンダー (研磨紙p180~240) などを用い、かんな目、逆目、毛羽を除去し、平滑にする。 ・汚れ・じんあいはふき取り、ヤニ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り	ドライキット 清水	100 5~15	0.13~0.16	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

※下塗りには、エスコート下塗用の使用も可能です。

トタン・カラートタン屋根



工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	・トタンの発錆部はサンダー・ワイヤーブラシ・ペーパーなどを用いて入念に除去する。(2種ケレン) ・花咲き・チョーキングなどの劣化塗膜は皮スキ・サンダー・ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は高圧洗浄機による水洗いで清掃する。 ・素地は十分に乾燥させる。					
2 下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

ロックボルト部、トタンの折り曲げおよび接合部分などで、エポマイルドの塗膜が薄くならないように注意してください。

- ・素地の乾燥状態が不十分ですと、つや引け・ふくれ・はがれ・割れなどの原因になりますので注意してください。
- ・塗付量が少ないと十分な塗膜性能が得られませんので、所定の塗付量を塗装してください。
- ・各工程の塗装間隔は所定の時間を守ってください。また山間部などで、夜露が早く降りる地域では、塗装を早めに終え、乾燥時間を確保してください。
- ・エアレス塗りの場合、特に塗装ミスの飛散には、注意してください。汚染・臭いのトラブルが出ないように、十分な養生を行い、また風向きなどを考慮して、塗装してください。
- ・洗浄機などによる水洗い時の屋根は、滑りやすいので、足元に注意してください。

外壁・手摺り・屋根など、オールシリコンで塗装された建物は

『**シリコンハウス**』と呼ばれています。



■ 塗装上の注意事項

- ・素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- ・素地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- ・気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- ・強風時や降雨・降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
- ・吹付塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- ・使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- ・うすめすぎは、たるみ、隠べい不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- ・他の塗料や所定以外のシンナーの混合は避けてください。
- ・たれ、塗り残しなどがないように均一塗装してください。
- ・塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- ・上塗りを1回目塗装後に、2回目の色相を変えて塗装しますと、ブリードによる変色を生じることがありますので注意してください。
- ・シーリング面に塗装する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。
(ポリサルファイド系シーリングの場合は、2回塗りしてください。)
- 尚、シリコン系及びブチル系シーリングの場合は、塗装を避けてください。
- ・シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- ・塗装面とプラスチックなどの可塑剤を含むものとが接触する箇所には塗装しないでください。
- ・ベンチ・ジャンクルジムなど人が乗るもの、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- ・開缶した状態で長時間放置しないでください。
- ・塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーの方が簡単です。
- ・補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。

■ 取扱い上の注意事項

- ・引火性の液体ですので、火気のあるところで使用しないでください。
- ・吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- ・取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- ・取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- ・臭いは、食料品・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- ・容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- ・蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- ・容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- ・火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- ・捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。

注) ① 建物の構造、塗装部位(雨のかけがりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

② 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。
また、製品の詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



スズカファイン株式会社

営業本部	〒510-0101	三重県三重郡楠町小倉1058-4	☎0593-97-6190	FAX0593-97-6191
技術本部	〒510-0851	三重県四日市市塩浜町1	☎0593-46-1116	FAX0593-46-4585
札幌支店	〒061-3243	石狩市新港東2丁目17-1	☎0133-60-6311	FAX0133-62-4313
東京支店	〒132-0025	東京都江戸川区松江4丁目25-13	☎03-5661-2211	FAX03-5661-2020
名古屋支店	〒453-0837	名古屋市中村区二瀬町110-1	☎052-411-1255	FAX052-412-7337
大阪支店	〒575-0031	大阪府四條畷市葦屋398-12	☎072-862-1601	FAX072-862-1561
広島支店	〒733-0833	広島市西区商工センター4丁目6-1	☎082-277-1116	FAX082-277-6217
四国支店	〒763-0083	丸亀市土器町北1丁目36	☎0877-24-4621	FAX0877-24-4624
九州支店	〒811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原字有崎1572	☎092-938-0071	FAX092-938-0075
旭川出張所	〒070-0035	旭川市5条通16丁目左7号	☎0166-29-6111	FAX0166-29-6113
東北営業所	〒989-1305	宮城県柴田郡村田町大字村田字西ヶ丘3-7	☎0224-82-1633	FAX0224-83-6110
群馬出張所	〒371-0855	前橋市問屋町2丁目11-6	☎027-253-4821	FAX027-253-4821
埼玉営業所	〒330-0841	さいたま市東町1-117	☎048-643-7180	FAX048-643-7180
千葉出張所	〒285-0813	佐倉市石川620-1	☎043-486-0096	FAX043-481-3181
神奈川営業所	〒243-0303	神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6752-1	☎046-286-3220	FAX046-286-3594
新潟営業所	〒950-0063	新潟市上王瀬町1番30号	☎025-271-2345	FAX025-271-2350
富山営業所	〒939-8071	富山市上袋509-1	☎076-421-5578	FAX076-421-5552
金沢営業所	〒920-0356	金沢市専光寺町ヨ26番地3	☎076-267-1922	FAX076-267-1930
静岡営業所	〒422-8036	静岡市敷地一丁目26番14号	☎054-236-0825	FAX054-237-5020
三重出張所	〒510-0101	三重県三重郡楠町小倉1058-4	☎0593-97-6115	FAX0593-97-2100
平野営業所	〒547-0041	大阪市平野区平野北2丁目3-5	☎06-6791-6291	FAX06-6792-5196
播磨営業所	〒679-4155	龍野市揖保町揖保中474	☎0791-67-1468	FAX0791-67-8866
和歌山出張所	〒640-8483	和歌山市園部1426-1	☎073-461-2711	FAX073-461-2911
岡山出張所	〒710-0145	倉敷市福江字山王477-1	☎086-470-2808	FAX086-470-2809
松山出張所	〒791-8025	松山市衣山2丁目7-33	☎089-922-0577	FAX089-922-0573
北九州出張所	〒803-0864	北九州市小倉北区熊谷3丁目14-13	☎093-562-1503	FAX093-562-1676
熊本出張所	〒862-0941	熊本市出水6丁目1-1	☎096-378-1795	FAX096-379-4560
宮崎出張所	〒880-0912	宮崎市赤江飛江田1208	☎0985-50-6840	FAX0985-50-6841
鹿児島出張所	〒891-0102	鹿児島市星ヶ峯3丁目9-8	☎099-265-9480	FAX099-265-1086
沖縄営業所	〒903-0815	那覇市首里金城町2-86	☎098-884-6054	FAX098-887-1687

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

ISO 9001
認証取得



36